

4

# こもれび

社会福祉法人 明和会 陽だまりの里  
編集・発行責任者 井上 明秀  
〒834-0015  
福岡県八女市本2575-1  
TEL 0943-30-3055 FAX 0943-23-0750



写真：八女中央大茶園

# 平成二十七年事業計画

## 基本方針

平成26年2月、日本は国連障害者権利条約の批准国となった。国内で条約の効力が生じたことは、障害者の支援を担う我々にとっては心強さを感じながらも、今後の取組みには支援者としての責任が求められるであろう。

また、障害者差別解消法は平成28年4月の施行に向けて準備が進められている。我々は、障害を理由とする差別の禁止や虐待防止などの人権の尊重に対し社会の先頭に立ち、一層努めなければならない。

さらに、社会福祉法人制度改革が議論されるなか、法人の役割と責任を理解して、社会福祉法人としてふさわしい貢献の取組みを進めることが求められる。

そのような中、本法人は開園以来13年に渡り「小規模で多機能な地域の障害者のさまざまなニーズに応える施設づくり」を積極的に進めきた。それにより、昨年度の障害児サービスの開始によって事業メニューとしては一応の目標に達した。

しかし、利用者の求めるサービスの質の担保は道半ばであり、利用者一人一人の思いに寄り添う自立支援をさらに充実していくことがその達成につながると思われる。

そこで、平成27年度の本法人は、陽だまりの里に集う利用者と利用者を支える方、役職員や関係者の皆さんが、理念に掲げる「相互に感謝の気持ちを持ちながら共に成長していく充実した生活」を実感できる空間づくりを目標に更なるチャレンジをスタートさせる。

以下、「フレッシュチャレンジ陽だまりの里」の合言葉の下、役職員一丸となりその達成に向けて、行動指針を策定し、事業計画により事業を推進する。



## 事業計画

### 1. サービスの質を高めるための取り組み

① 障害者（利用者）への虐待防止を最優先課題とし、徹底した管理体制のもと全職員を対象とした様々な啓発活動や勉強会（グループワーク、チェックリスト調査等）を継続する。

② 職員の研修会参加や外部視察等について、モラルアップ、スキルアップ、モチベーションアップを目的に年間計画を作成し、それに基づいた教育訓練および情報習得の機会を設ける。

③ サービスの質の向上とコンプライアンス遵守の事業環境づくりを目的に、初めての試みとして、福祉サービスマター評価を受審する。

### 2. 働きがいのある

#### 職場環境づくり

① 職員の定着率を更に高めるため、処遇改善加算を活用した処遇改善（給与体系の一部見直し等）を進める。

② 人事考課における評価項目を一部見直し、より実態に合った評価を行うための基準を整備する。

③ 人間関係（コミュニケーション）の良好な職場環境の構築と職員のメンタルヘルスケアを目的に、専門講師による内部研修を企画する。

### 3. 社会福祉法人としての役割

① 社会福祉法人に求められている公益法人としての役割を理解し、社会貢献活動の更なる推進を図る。

② ボランティアや施設見学、地域住民、その他外部からの来訪を広く積極的に受け入れ、これまで以上に開かれた施設づくりを進める。

③ 昨年3年ぶりに開催した「ほのぼのフェスタ」を本年度も開催する。地域向けの発信の在り方について再考し、多くの方々にご来場いただけるような催事を企画する。

④ 本年度から新会計基準へ移行するため、その基準に沿った会計処理を確実に実行し、正確な帳票作成を行う。また、その情報については法人ホームページ上での公開が義務付けられているため、遅滞のないように事務手続きを進める。

### 4. 障害者支援の推進

利用者本位の理念の基に、法人の3年（短期）・5年（中期）・10年（長期）の計画策定を進め、次の10年後を見据えた、ハード面・ソフト面の強化について協議を行い、更なる障害者支援の推進を図る。

以下各部門事業計画とする

## カーサ陽だまりの里 (施設入所支援、生活介護)

カーサは～認め合い、微笑み合い、ともに生きる～をコンセプトとしています。今年度の目標は利用者支援の質の向上として重度高齢化の方々の病気予防、早期発見に努めていきます。同時に利用者の個人のニーズに沿った支援を行いQOLの向上を目指します。カーサのご利用者は音楽や絵など芸術に興味を持っている方が多く、八女市内のイベントにも積極的に参加しています。今年度も施設内外の行事も目白押しで、楽しい毎日を生き生きと生活されるよう支援します。



## カーサ陽だまりの里 (短期入所)

短期入所では、ゆっくりとお泊りして頂ける環境づくりを心掛けており、お一人お一人に合った居室作りなど個室ならではのくつろげる空間を目指しています。他にも様々な方と生活の場を共有することにより、自立への第一歩をお手伝いできればと思っています。

また、今年度より個別支援計画の作成を始めます。日中活動支援部や関係機関とも連携を図りながら計画を立て、サービスの質の向上とご本人、ご家族のサポートをしていきたいと思ひます。



## ピュア陽だまりの里 (生活介護)

ピュア陽だまりの里は、明るく・楽しく・賑やかに笑顔が絶えない時間を過ごして頂ける様、様々な活動を提供し、また重度の利用者の支援に当たり、専門職（看護師・理学療法士・言語聴覚士・音楽療法士・管理栄養士）関係者機関との関わりを大切に、個別支援の充実に繋げる。

- ①現利用者を含め、利用者の状態に合わせた様々な利用の受け入れを検討。
- ②利用者一人一人のニーズに沿った個別支援の充実。
- ③様々な角度から職員一人一人のスキルアップに努め、利用者や家族から安心して利用いただけるように、また信頼を得られるようにしていく。



## 陽だまりキッズ (放課後等デイサービス、児童発達支援)

陽だまりキッズは、お子様たちの「やさしい笑顔」「明るい笑い声」が集う、癒しとわくわくする空間にすることを目指しています。

今年度は、障害の状況に応じた活動の提供と充実を図ります。また、お子様たちが混乱する事がないよう、統一した支援を行います。その為、研修等を通し職員の知識・スキルの向上を目指す事はもちろん、保護者の方々との信頼関係の構築、関係機関の方々との連携の強化を図っていきたく思ひます。2年目に入る陽だまりキッズですが、今後もお子様と共に成長していく姿勢を忘れずに支援に取り組んでいきます。



## モア陽だまりの里 (生活介護)

利用者さんとともに、日中活動を楽しみ、自己決定が出来る支援を第一に心がけます。また、より密な関係性を築くために担当する利用者さんと外出する機会を設け、担当意識の向上を図ります。さらに、職員全体のスキルアップのため、研修や出張を行い、自己研鑽に努めます。



## 陽だまり工房 (就労移行支援、就労継続支援B型)

陽だまり工房は利用者一人ひとりの「働きたい」想いに答え「夢」を追いかけ「笑顔」を絶やさず利用者の様々な「働く」を一緒にみつめます。また作業の拡大を目指し農園作業での作物の販売やパン販売の開拓、キューブパンの新品にも力をいれていきます。また利用者さんの可能性を伸ばし働く喜びを支援します。



## 障害者サポートセンター陽だまりの里 (一般・特定相談支援)

障害者福祉サービスを利用するためには、その指標となる「サービス等利用計画」が必要になりました。それを作成するのが、私達サポートセンターの相談支援専門員の仕事です。それは、私達はその対象者の方の支援コーディネーターになるということです。ぜひ、その方にとって相談できる心強いパートナーでありたいと願っています。また、そのような具体的な福祉サービスに繋がらなくても、障害者の方にとって、困った時に役立つひとつのガイドブック的な役割を果たしていきたいと思っています。



## 障害者基幹相談支援センター リーベル

八女地区（八女市、広川町）の障害をお持ちの方の相談全般を受け付けているのが「リーベル」です。困った事、分からない事等は「どこに相談したら良いの?」「誰に尋ねたら良いの?」と迷われる事がたくさんあると思いますが、遠慮なくリーベルにご相談下さい。



## 平成27年度 陽だまりの里 行動指針

新たなる飛躍に、挑戦し続ける年！利用者本位の理念のもと、サービスの質を向上し、全職員一丸となり、地域から支持される 陽だまりの里を創ろう！！

～ フレッシュチャレンジ 陽だまりの里 ～

1. 生活支援  
利用者や利用者を支える方の思いや目標に沿って、生活を支援します。
2. 権利擁護  
人権意識を高く持ち、利用者の自己決定と自己選択を尊重します。
3. 危機管理  
安心安全を約束するために、マニュアルの整備と実践をします。
4. 役割と責任  
役割を理解し、その職務に責任感をもってあたります。
5. 業務改革  
ムリムダを省き、効率的な施設運営を心がけます。

### 地域活動支援センター ほほえみ ふらっち広場

いろいろな方が出会い、関わり合うことで、新しい自分を発見したり、自分の居場所を見つけ、安心してくつろげる場所となることを目的としています。地域にお住いの障がいをお持ちの方にとっての憩い場、安心して立ち寄って頂けるようなスペース作りを心がけていきたいと思ひます。また、御利用者一人一人の個性を尊重し、互いに理解し合い、認め合いながら友好的な交流が出来るよう支援していきたく思ひます。そして、今年度は、地域との交流や障害のある方への理解を深めることに力を入れ、利用者や地域の方と共に、地域に根付いたふらっち広場作りを行っていきたく思ひます。



### 陽だまりの里ホームヘルプサービス (居宅介護 重度訪問介護 同行援護 訪問介護 移動支援)

障害を持った人や高齢のため何らかの支援が必要な方の地域生活をサポートするのが、私たちホームヘルプサービスの使命です。私たちは、一方的にサービスを提供するのではなく、利用者さんとともに考え、学び合いながら、互いに支え合う支援を目指しています。障害を持つ人や高齢の方が地域で生活していくために、今の制度や環境等がベストとは思いません。社会に訴えるべきことは、利用者とともに訴えながら行動し、より良い地域社会の発展に寄与できればと常に考えながら日々の業務に当たっています



## 陽だまりホーム（共同生活援助） 和み、恵み

陽だまりホームは、おかげさまをもちまして約5年を迎えることができました。これもご家族の方々をはじめとした多くの関係者からのご支援、ご指導のおかげであると深く感謝しております。『和み』では、家庭的で温もりある生活はそのまま、今後は地域での新たな発見や経験ができる機会を増やし、もっとアクティブに生活して頂けるよう支援を行なっていききたいと思います。『恵み』では、自立生活を目指される方はもとより、今はまだ足踏み状態にある方へも、それぞれのペースに合わせた支援を職員と一緒に見直し、共に自立への意欲を高めていける環境を築いていきたいと思っています。



## 栄養管理

給食では、昨年9月から入所利用者を対象に栄養ケア・マネジメントを始めるようになりました。今年度の目標としては、栄養ケア・マネジメントの定着を目指してしっかり取り組んでいきたいと思っています。新しい取り組みとしては、嚥下が困難な利用者でも安心して召し上がって頂けるソフト食（ミキサー食を固めて形があるもの）の提供に向けて、準備を少しずつ始めていきたいと思っています。



## 機能訓練

- ・リハビリ対象者が増えている中で、今後もそのニーズは高まることが予測される。リハビリ助手の配置等を検討し、事故防止も努めます。
- ・利用者や家族との信頼関係を構築するために、モニタリングへの積極的な参加を行い、リハビリに対する希望や具体的な目標等の確認を行います。
- ・理学療法士による個別リハビリだけではなく、集団リハビリや自主訓練でも効果は得られるため、現場職員にもできる簡単な訓練の伝達や指導を行います。



## 音楽療法

音楽療法部門は、来年度の目標に“ピュア音楽療法の確立”“放課後等デイサービスにおける音楽療法の介入”“現場スタッフの育成”などを挙げています。音楽療法が実施できる時間が限られている為、昨年度は、ピュアの音楽療法や放課後等児童デイサービスの短時間内でのセッション介入が難しい部分がありました。しかし、今年度は、音楽療法の時間を増やすことで、できる限り利用者や家族のニーズに応えていきたいと思っています。また、現場スタッフでもできる音楽療法について、施設内スタッフの育成に努めていくことで、更なる音楽療法の拡大を目指していきたいと思っています。



# 第3回気づきコンテスト

平成27年2月1日～28日

## ●気づきコンテストとは

気づきコンテストは、平成25年度より開始しました。全職員が業務や利用者さんについての気づいたことを記入し、その件数と内容を競うコンテストです。今年ではチーム分けをくじ引きで行い、部門関係なくチーム戦で競いました。競う目的ではなく、「どれだけ気付いて、それを活かせるか」と言う事を大事にしています。

## ●結果発表 優勝チーム

同点2チーム

GKTチーム

ゴールドさんが多いのが特徴です。経験豊富なゴールドさんの力を借りたいい！

オールスパイス  
色んなスパイスを混ぜると、すごく良い味が出るんです！スパイスカレールは最高なんです！！

## 個人賞

カーサ陽だまりの里 和田 智早  
ピュア陽だまりの里 松村 眞紀子

介護サポート 井手 瑞菜  
生活支援課 入部 晃

## 気づき事例紹介

私はいまままで20数年間、病院や老健に勤めてきました。

高齢者が一旦入院すると、介護における様々な問題が発生する。その為、社会的入院と言われる長期療養を強いられることになる。

そんな高齢者のリハビリを行う中で、目標や希望となるように、退院の前に「外泊」から挑戦してきた。「外泊」と

言ってもそう簡単にはいかない。

「外泊」を行う為に、本人のやる気、何が出来たら帰れるのか、何が必要なのか、介護される家族へのアドバイス。今のカーサでもこれと同じく、何かの目標や希望となる事を見つけたら、そんな風に感じていきます。私はPTとして、何のために痛くてつらいリハビリをしなければならぬのか？ただ拘縮予防の為、介護負担軽減の為、それだけでは利用者さんに頑張れ！とは言えません。そんなリハビリを一生続けてもらいたくはない。辛いリハビリを頑張った先になにか一つでも楽しい事、うれしい事、頑張ったよかったと感じられることがあればいいと思う。

●これまでの実績  
第一に、職員の意識変化、環境整備、書式の変更など。

●今後はどう生かしていきたいか  
立ち止まって考察すると、たくさんの気づき、提案がある。日頃から気付いた事もあると思うので、常に提案できるように気づきシートボックスが活用されるようにしていく。職員の自己啓発、スキルアップにつなげていければと思う。

## ●実施期間

### 第3回気づきコンテストチーム別成績表

順位	チーム名	気づき件数
45	オールスパイス	1
44	祝円	2
43	まぜご飯	3
42	キユーティーセブン	4
41	今ワク	5
40	The3000	6
39	ラッスンゴレライ	7
38	GTK	8
37	TFC	9
36	大・竹・ばい	10
35	チーム名	11
34		12
33		13
32		14
31		15
30		16
29		17
28		18
27		19
26		20
25		21
24		22
23		23
22		24
21		25
20		26
19		27
18		28
17		29
16		30
15		31
14		32
13		33
12		34
11		35
10		36
9		37
8		38
7		39
6		40
5		41
4		42
3		43
2		44
1		45

### カーサ陽だまりの里 (平成27年1月～4月 行事報告)



### ピュア陽だまりの里 (平成27年1月～4月 行事報告)



### 陽だまりキッズ (平成27年1月～4月 行事報告)





### モア陽だまりの里 (平成27年1月～4月 行事報告)



### 陽だまり工房 (平成27年1月～4月 行事報告)



### 陽だまりホーム (平成27年1月～4月 行事報告)



# 利用者さん紹介コーナー それから

ピュア陽だまりの里をご利用されている江崎健太さんです。

とても穏やかで優しい性格で、皆のお兄さんの存在です。一部の利用者さんからは「健太兄ちゃん」と言われて慕われています。

好きな事は、カラオケで歌ったり、美味しい物を食べたり；皆でワイワイする事が好きなんだそうです。いつも気軽に「一緒にしましょう」と誘ってくれたりもします。

そして、オセロが強く、職員との対戦成績はほとんど白星で飾られています。とても強くて、私達が束になってもかないません。



明るく優しい素敵な男性の健太さん、これからも宜しくお願いします。

陽だまりの里に来て1年になり  
ますがまだドドキして参加させて  
もらっています。  
新しいお友達と入ってこれ  
たのでこれから学んでいきたい  
と思います。気軽にならたけど  
楽しんで学んでいきたいと  
思います。 江崎 健太



ピュア陽だまりの里をご利用されている野田藤子さんです。

好きな事は、食べる事。とても幸せそうな表情で、お茶碗とお箸を持ってご飯をかきこむように食べられます。幸せすぎる時は声を出してクスクス笑われます。

ピアノを弾くのだからとても上手です。黒鍵と黒鍵の間を行き来する指づかいは見えていて魅了されます。癖になってしまいましたよ。

素敵な笑顔と性格で私達に元気をくれる藤子さん、これからも宜しくお願いしますね。



# 出張報告

## 地域生活支援部

マネージャー 山村伸也

### ●第14回

地域生活支援推進研究会

### ●主催

全国社会福祉協議会

全国身体障害者施設協議会

### ●期間

平成27年1月29日(木)

30日(金)

### ●会場

東京都タイム24ビル

### ●参加者

理事長 井上 明秀

日中活動支援部部长 大竹 光

地域生活支援部マネージャー 山村 伸也

第14回地域生活支援推進研究会

に参加させていただきました。この研修は①相談支援事業の運営について考える(第1分科会)、②グループホームの運営について考える(第2分科会)、③日中の支援の役割と活動の広がりについて考える(第3分科会)と3つの会に分かれており、私は第1分科会で「八女地区障害者基幹相談支援センターレベル」について発表いたしました。全国各地から集ま

たスタッフ、相談支援専門員の方々に前に「複数法人による相談支援事業所の共同運営」と題してリーベルの取り組み事業(自立支援協議会から相談支援内容まで)、八女地区の障害福祉の動向、共同運営の効果等を説明させていただきました。全国的に見ても相談支援事業所は法人単独で運営をされている地域がほとんどで、共同で運営する事による利点等をお伝えしましたが、参加された方々からは「そういうやり方があるのですか?とても参考になりました」「共同運営は窓口が一本化され、相談者に対して分かりやすくスムーズですね。私の地域も共同運営を行政に訴えていきたいと思えます」等の意見を言われ、様々な意見をもらいました。

最後にこの研修は自分が現在行っている「相談支援業務」が客観的に見るとどう映っているのかを確認する事ができました。そこで気づいた事をこれからも一つ一つ確認し、一人でも多くの方のプラスになるように行っていきたいと思えます。

# 平成27年度入社式



## 入社式

社会福祉法人 明和会 入社式が平成27年4月1日（水）執り行われました。

式の中では、誓いの言葉を新入職員7名を代表して伊藤由弥さんから「陽だまりの里の職員として皆様と一緒に、お仕事をさせて頂くことを嬉しく思います。私は、アルバイトとして、この仕事に携わり他の職種にはない楽しみとやりがいがあると感じました。ここでの仕事は利用者の生活そのものと、一部に密接に関わり、私たちの仕事ぶりが利用者の満足に直結すると思います。利用者、職員と良い関係を築き精一杯頑張るのをご指導よろしくお願いします。」と、力強く宣誓されました。その後、参列していた幹部職員より温かいメッセージが贈られ、式は閉会しました。

翌日より座学研修を4日間、各事業（生活介護、就労継続支援B型、放課後等デイサービス、共同生活介護）の現場研修を9日間行い、最終日の20日には「陽だまりの里の疑問と対策」として、プレゼンテーションを行いました。過去には、ここでの発表から事業名称や制服の変更を行いました。今年の発表は次号紹介します。

## 職員紹介

- ①趣味
- ②自分は知らなかった自分「ジョハリの窓」から
- ③〇〇年後の自分

伊藤 由弥（イトウ ユウヤ）

- 前列右から3番目  
配属：ピュア陽だまりの里
- ①バスケット、読書、ゲーム
  - ②意志が強く、前向きな一面があるように見られた
  - ③10年後、高級車に乗っている

古賀 沙弥香（コガ サヤカ）

- 前列左  
配属：モア陽だまりの里
- ①菓子作り、バスケット、自転車
  - ②前向きで情熱的で行動力がある。その中でもやさしい一面があるように見られた
  - ③10年後、結婚している

池田 春菜（イケダ ハルナ）

- 前列左から4番目  
配属：カーサ陽だまり里
- ①旅行、DVD鑑賞、岩盤浴
  - ②前向きで行動力があり、人に慕われる一面があるように見られた。
  - ③1年後、正社員として勤務している

牛嶋 まや（ウシジマ マヤ）

- 前列左から2番目  
配属：カーサ陽だまりの里
- ①スポーツ観戦
  - ②行動力のあるように見られた
  - ③20年後、自分の望む人生を自分の手で手に入れる

末崎 修（スエザキ オサム）

- 前列右から2番目  
配属：陽だまり工房農園長
- ①野球（楽しい孫とのキャッチボール）、釣り
  - ②優しく見られた
  - ③5年後、集落農事組合法人のリーダー格

國武 琴美（クニタケ コトミ）

- 前列左から3番目  
配属：モア陽だまりの里
- ①手芸、惣菜作り
  - ②社交性があり、自分を持っているように見られた
  - ③20年後、時間に縛られずに外にでる

牛島 健（ウシジマ タケシ）

- 前列右  
配属：介護サポートゴールド
- ①海釣り、散歩
  - ②若い人とも多少コミュニケーションが取れる
  - ③10年後、町内のグラウンドゴルフに参加している

# 陽だまりば元気にするバイ

NPO法人 九州プロレスより  
ばってん×ぶらぶら選手が3月13  
日金曜日に訪問して下さいました。  
3年前の筑前りよう太選手以来の  
訪問となります。

ばってん×ぶらぶら選手はプロ  
レスラーですがデカイ、ゴツイ、  
怖いオーラは無く、元芸人さんら  
しく気さくなオーラで利用者・職  
員に面白おかしく接して頂きました。

パフォーマンス(寸劇)、写真  
撮影、サインに気持ちよく応じて  
頂き、皆さん「とてもよい思い出  
が出来た」と後日、話されていま  
した。

最後に、九州プロレスの活動に  
賛同されている 株式会社サニク  
リオン九州の担当者から胡蝶蘭を  
2鉢、法人に頂きました。



## クラブ紹介

陽だまりの里バレー部で  
す。今回2月1日に、第二  
回陽だまりの里交流ミニソ  
フトバレー大会を開催いた  
しました。前回の8チーム  
参加から、今回は12チ  
ムと、陽だまりの里より2  
チームが出場し、計14チ  
ムでのトーナメント戦を行  
ないました。どの対戦も肉迫しており、  
接戦を極める試合もありました。真剣  
勝負の中に垣間見える笑顔やお互いへ  
の気遣いで、一日とても楽しい雰囲気  
で過ごす事が出来ました。地域の皆様  
の明るさに負けないように、陽だまり  
の里チームも持ち前の明るさで張り切っ  
て試合に臨みました。(①劇団陽だまり  
②ほのぼの、というチーム名でした。)

陽だまりの里からは、12人の職員が  
出場しました。中にはバレー初心者の  
職員もあり、皆で支え合い笑顔で称え

## 日本財団より寄贈

平成26年度日本財団福祉車両助成事  
業により、平成27年2月23日(月)、  
3台の送迎車が納車されました。

車両は、山間部でもグイグイ走るダイ  
ハツハイゼット(軽車両)です。車いす  
にベルトフックをセットして電動ウイン  
チで巻き上げ、幅広スロープは色んな車  
いすに対応し乗降操作に安心感を与えて  
くれます。

今後も利用者の皆様の送迎や外出支援  
に、職員一同取り組んでいきたいと思  
います。本当にありがとうございました。



合う、まさに陽だまりの里らしいプレー  
の連続でした。普段の業務ではなかな  
か見る事の出来ない他の職員の表情を  
見て、一層チームワークが深まったの  
ではないかと思えます。  
これからも地域の皆様と交流を深め  
る為、チャリティイベントとして開  
催していく予定です。マラソンの様に  
達成感のある汗も良いですが、バレー  
の様にチームプレーで汗を流すのも楽  
しいですよ。そう思いながら、ミニソ  
フトバレーの繁栄を心より願う私でし  
た。

## 編集後記

陽だまりの里機関誌  
「こもれび」をお読み  
頂きありがとうございます。  
同誌は、昨年度  
より職員が制作スタッ  
フとなり作りあげてき  
ました。企画、原稿案  
の作成から、原稿・写  
真集めや編集作業等な  
ど、多くの方のご協力  
により、機関誌の作成  
が出来たことに感謝申  
し上げます。

今年度の陽だまりの里  
の目標は「フレッシュ  
チャレンジ」です。広  
報誌作成に当たっても、  
皆様によりフレッシュ  
(新鮮)で、リフレッ  
シュ(元気を与えられ  
るような)できるよう  
な記事をお届けできる  
よう一丸となり取り組  
んで参りますので、今  
後ともどうぞ宜しくお  
願い致します。

